

組合員・利用者本位の業務運営に関する取組状況および K P I 実績値の公表について

- いずみの農業協同組合（以下、「当組合」といいます。）は、『「人」が大切、「緑」が大切。』を経営理念として、「食・農・くらしを基軸に地域とつながる J A」を目指し、「地域農業を守る」「地域の食を守る」「組合員のくらしを守る」の「3つの守る（支える・解決する）」事業・活動を展開しております。
- 当組合では、この理念のもと、「組合員・利用者本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、組合員・利用者の皆さまの安定的な資産形成と「ひと・いえ・くるまの総合保障」に貢献するための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。
- また、上記とあわせ金融庁より各金融機関に対し公表が期待される「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶうえで比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通 K P I 」）も同時に公表いたします。

（注）共済事業は、当組合と全国共済農業協同組合連合会（ J A 共済連）が、共同で事業運営しております。

いずみの農業協同組合

I.取組状況

1 組合員・利用者への最良・最適な商品、共済仕組み・サービスの提供

(1) 信用の事業活動

【原則2本文および(注)、原則3(注) 原則6本文および(注2、3、6、7) 補充原則1～5本文および(注)】

- 特定の投信運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準、投信運用会社におけるプロダクトガバナンスの実行性の確保状況等も踏まえたうえで、お客さまの多様なニーズにお応えし、製販全体で組合員・利用者の最善の利益を実現するため、金融商品を購入した組合員・利用者の皆さまの属性および販売状況に関する情報等を投信運用会社と相互に連携します。なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- 金融商品の選定にあたっては、組合員・利用者の皆さまの色々な「投資に関する好み」に合った商品を揃えつつ、「選びやすさ」、「長期投資への適性」を考慮し、一定の商品数に絞った『セレクトファンド』により商品提供を行なっております。
- なお、組合員・利用者の皆さまの最善の利益の実現につながる取組として、2025年度以降、金融商品を組成する投資運用会社との情報連携を開始予定です。

<投資信託の取扱い商品ラインナップ(2025年3月末時点)>

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 (前年度末：1)	9 (前年度末：9)
株式型	6 (前年度末：6)	7 (前年度末：7)
REIT型	2 (前年度末：2)	3 (前年度末：3)
バランス型	11 (前年度末：11)	

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

<商品選定の考え方>

主な選定基準

1. **長期投資**
長期投資を前提とした投資信託であること
2. **手数料**
手数料が良心的な水準であること
3. **運用実績**
過去の運用実績が相対的に良好であること
4. **将来性**
資産形成層には、過度に分配金を捻出する投資信託ではないこと
5. **運用体制**
運用体制について、外部機関の評価を得ていること

I.取組状況

1 組合員・利用者への最良・最適な商品、共済仕組み・サービスの提供

(2) 共済仕組み・サービス

【原則2本文および(注)、原則3(注)、
原則6本文および(注2、3、6、7)、補充原則1～5本文および(注)】

- 当組合は日々のくらしや農業を取り巻く様々なリスクに対して、安心して備えられるよう、組合員・利用者の皆さまに共済仕組みと最良なサービスを提供しております。
- 住宅価格の高騰により連帯債務の住宅ローン利用者が増加したことを受けて、団体信用生命共済において従来よりも手厚い保障が可能となる連生タイプの取扱を新たに開始しております。
- 市場リスクを有する共済仕組みの提供は実施しておりません。
- 総合満足度は2025年3月末時点で94.4%となっており、高水準を維持しております。
- なお、共済事業については、全共連と共同で事業運営を実施しており、お客さまの声や実際に販売した顧客情報等について相互に連携しております。

I.取組状況

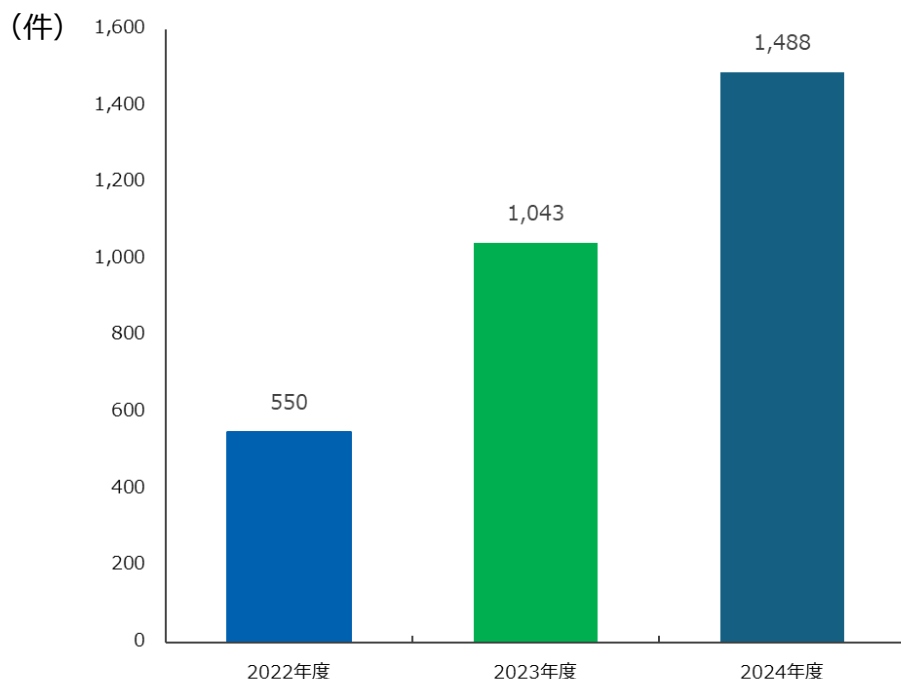
2 組合員・利用者本位の提案と情報提供①

【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1～5)、
原則6本文および(注1～7)】

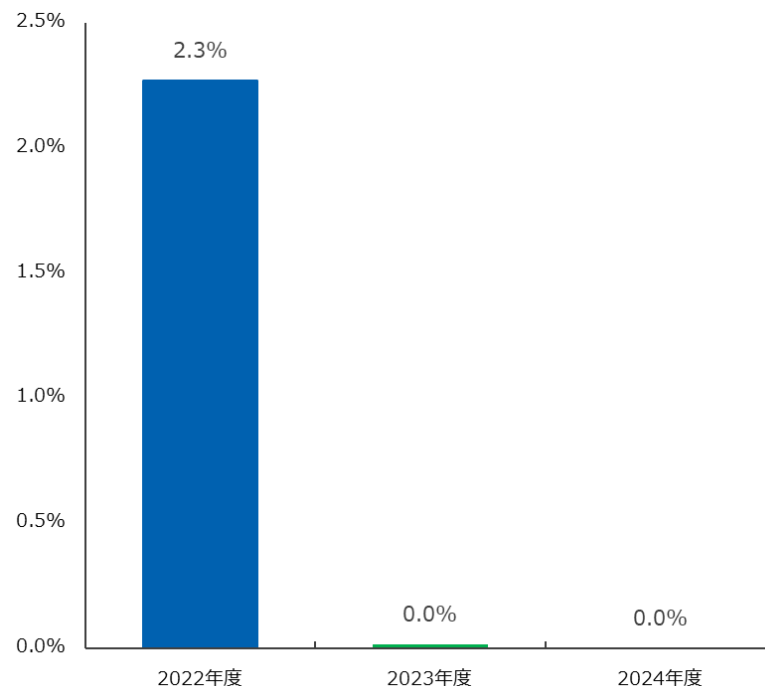
(1) 信用の事業活動

- 組合員・利用者の皆さまにへの商品提案にあたっては、「スタイル診断シート」を活用し、組合員・利用者の皆さまのリスク許容度を確認し、金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて組合員・利用者の皆さまにふさわしい商品をご提案します。なお、販売にあたっては、商品と組合員・利用者の属性・適合性の妥当性を判断したうえで販売します。その結果、「投信つみたて」を利用される組合員等が増加し、「毎月分配型ファンド」を選択される組合員等の比率が低下いたしました。

＜投信つみたて契約件数の推移＞



＜購入額に占める毎月分配型ファンドの比率＞



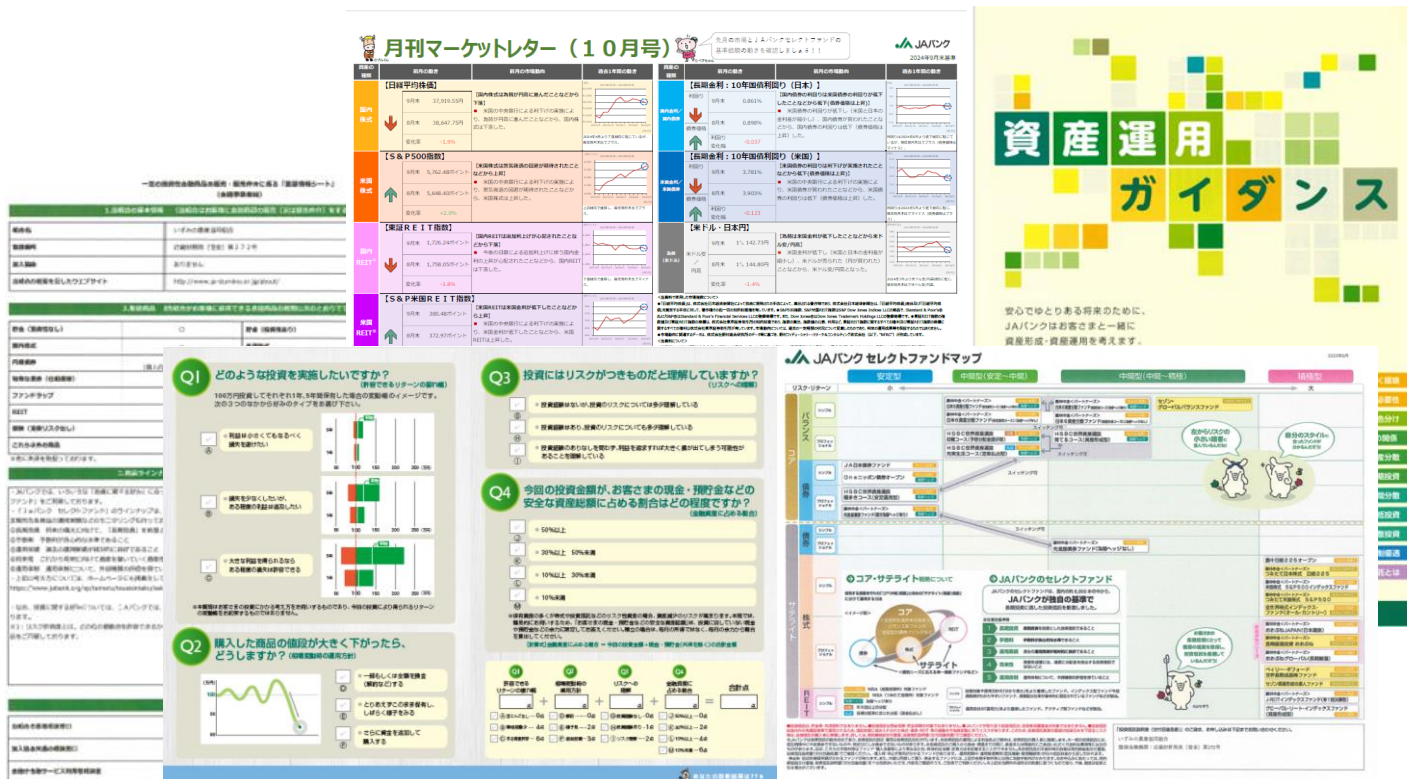
I.取組状況

2 組合員・利用者本位の提案と情報提供②

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1～7）】

（1）信用の事業活動

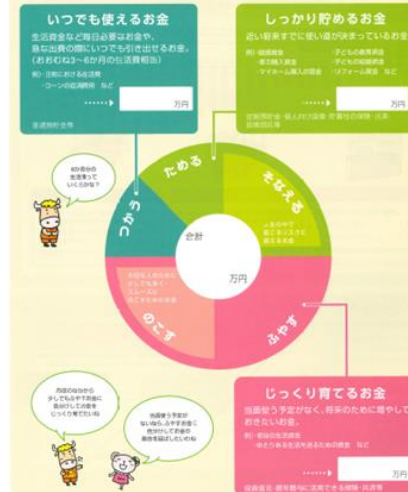
- 組合員・利用者の皆様の投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供するために、J Aバンクセレクトファンドマップ、J Aバンクファンドマップ等を活用のうえ簡潔かつ分かりやすい情報提供を実施しました。
- なお、2022年4月から重要情報シートを導入しております。



お金の色分け

まず、お持ちの資金（または収入）を目的に応じて色分けしましょう

お持ちの資金（または収入）を、色分けしてきましょう。
そうすることで、どのような金融商品を選ぶべきかわかりやすくなります。



I.取組状況

2 組合員・利用者本位の提案と情報提供③

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1・2・4・5）】

（2）共済の事業活動

① 共済仕組み・サービスのご提案

- ・ 共済仕組み・サービスの提案にあたっては、適切な販売支援ツール（提案資材）等を用いて、組合員・利用者の皆さま一人ひとりのご意向を適切に把握しております。
- ・ 組合員・利用者の皆さま一人ひとりのご意向に基づき、ライフイベント等の目的やニーズにより、最良・最適な共済仕組み・サービスを提案しております。
- ・ ニーズに合致したと思われる共済仕組み・サービスについては、重要事項説明（契約概要・注意喚起）を実施し、特にご確認いただきたい事項や不利益情報を分かりやすくご説明しております。

② 情報提供

- ・ 組合員・利用者の皆さまにご提案する共済種類に応じて、各種公的保険制度等に基づき、情報提供を実施しております。
- ・ 情報提供にあたっては、重要事項説明（契約概要・注意喚起事項）などにより、分かりやすく説明しております。

③ 契約締結時の対応

- ・ 適切な販売支援ツール（提案資材）等を用いて、ご提案した共済仕組み・サービスが組合員・利用者の皆さま一人ひとりのご意向に沿ったものであるか確認しております。

I.取組状況

2 組合員・利用者本位の提案と情報提供③

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1・2・4・5）】

（2）共済の事業活動

④ 高齢者対応

- ・ ご高齢の組合員・利用者の方については、ご家族も含め十分ご納得、ご満足いただけるよう、提案説明時、契約締結時にはより丁寧に分かりやすい説明を心がけ、ご家族の同席等を徹底するなどによりきめ細やかな対応を行っております。
- ・ 高齢者対応における親族等の同席の割合は、2024年度は97.9%となりました。
- ・ なお、2025年度から新たに「共済契約のお手続きに関するご案内」をお渡しし、ご契約者さま・被共済者さまだけでなく、ご親族の方にもご安心いただけるよう努めております。

⑤ 各種手続きとアフターフォローの実施

- ・ 各種手続きの実施にあたっては、組合員・利用者の皆さまに分かりやすくご説明しております。
- ・ 将来、ご自身によるお手続きが困難になった場合の備えとして、「指定代理請求人」にご家族を指定いただくことをご案内しております（生命総合共済の場合）。
- ・ 2023年度からは支払い請求手続きの簡素化を推し進めるなど、組合員・利用者の皆さまの利便性向上に向けて取り組んでおります。
- ・ 3Q活動を通じた近況確認、あんしんチェック等の日々の接点により、ご契約後も安心いただけるアフターフォローを実施するなど組合員・利用者の皆さまに寄り添った取組みを実施しております。
- ・ 保障の加入にあたり、共済掛金の他に組合員・利用者の皆さまに手数料等にご負担いただいております。

3 利益相反の適切な管理

【原則3 本文および（注）】

- 組合員・利用者の皆さまの利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」に基づき、適切に管理しております。
- 営業部門から独立した利益相反管理統括部署を設定のうえ、利益相反のおそれのある取引を特定し利益相反を管理しております。
- 以下の観点で利益相反のおそれのある取引を類型化し、効率的に管理することで、遺漏なく利益相反取引を検知する体制を整えています。
 - ①組合員・利用者の皆さまと当組合の間の利益が相反する類型
（例：経済事業を利用する際の前提として、共済事業の利用を条件とする場合）
 - ②特定の組合員・利用者の利益を他の組合員・利用者の皆さまの利益より優先する取引
（例：接待・贈答を受け、または行うことにより、特定の取引先との間で一般的な水準から乖離した水準で取引を行う場合）

4 組合員・利用者本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築 【原則2本文および（注）、原則6（注5）原則7本文および（注）】

① 組合員・利用者本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

- 当組合は、組合員・利用者の皆さまの信頼を獲得し、満足していただける金融商品、共済仕組み・サービスを提供できるよう、職員の継続的・定期的な研修を実施するとともに、組合員・利用者の皆さまの多様な資産形成や保障ニーズに応え、誠実・公正な業務を行うことができる職員を育成し、組合員・利用者本位の業務運営を実現するための態勢を構築しております。
- 組合員・利用者の皆さまへの適切な提案に資する高度な専門性を有する職員育成のため、外部資格取得を推奨しております。

<内部研修・資格制度>

- 証券外務員資格再研修（対象：信用担当職員）
- ライフアドバイザー認証要件研修（対象：渉外担当職員）
- スマイルサポーター認証要件研修（対象：共済担当職員）
- 推進担当者認証要件研修（対象：L A 管理者・共済担当職員・渉外担当職員）等

<取得を推奨する外部資格>

- 証券外務員2種（対象：信用担当職員）
- 内部管理責任者試験（対象：信用担当職員）
- F P 3級技能士（対象：全職員）

4 組合員・利用者本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築 【原則2本文および（注）、原則6（注5）原則7本文および（注）】

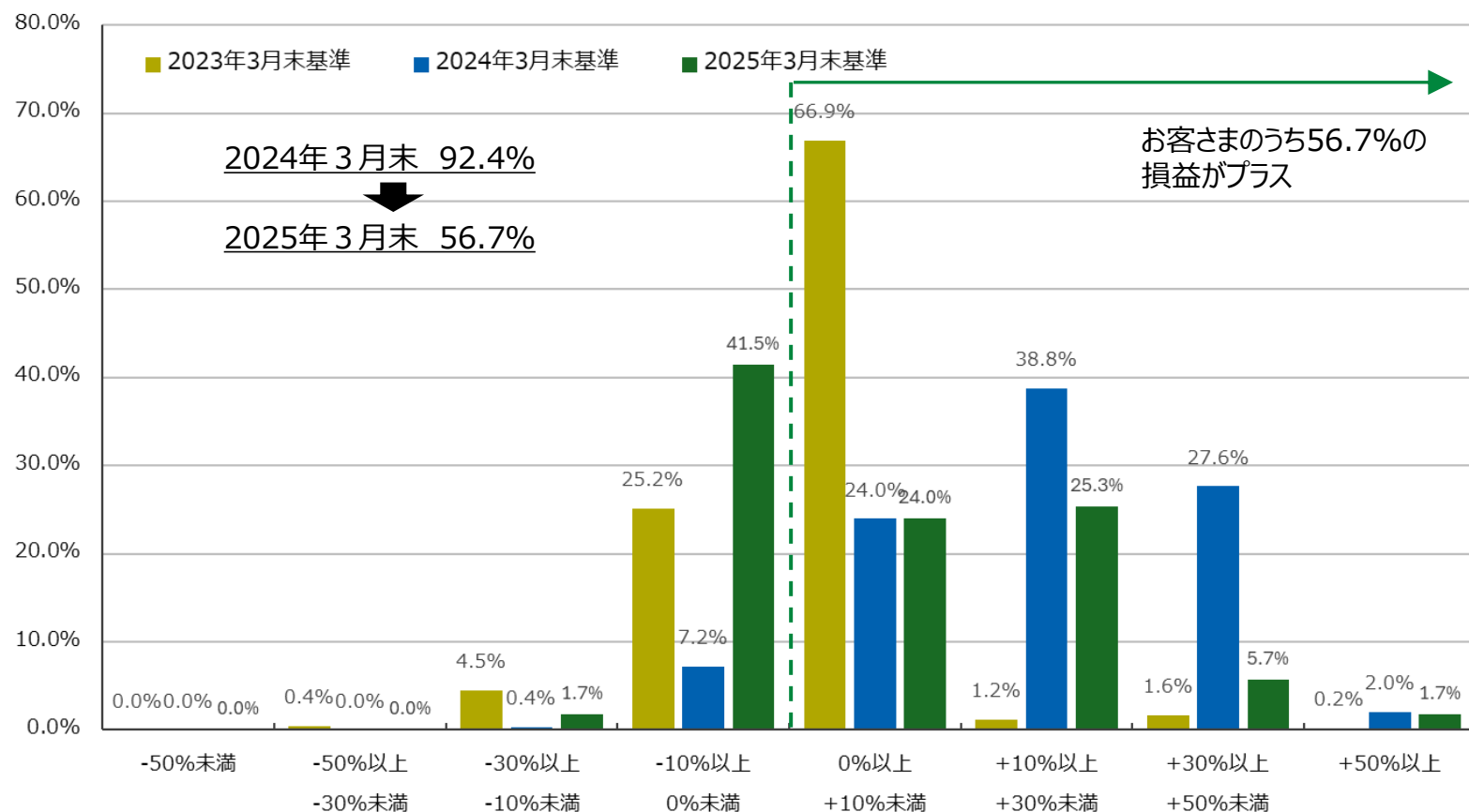
② 組合員・利用者の皆さまの声を活かした業務改善

- 当組合は、組合員・利用者の皆さまからいただいた「声（お問い合わせ・ご相談、ご要望、苦情など）」を真摯に受け止め、組合員・利用者の信頼と期待に応え続ける事業活動を目指し、職員育成と業務改善に努めております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

1 運用損益別顧客比率（投資信託）

- 「運用損益別顧客比率」は、組合員・利用者の皆様へ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2025年3月末時点では以下のとおりです。

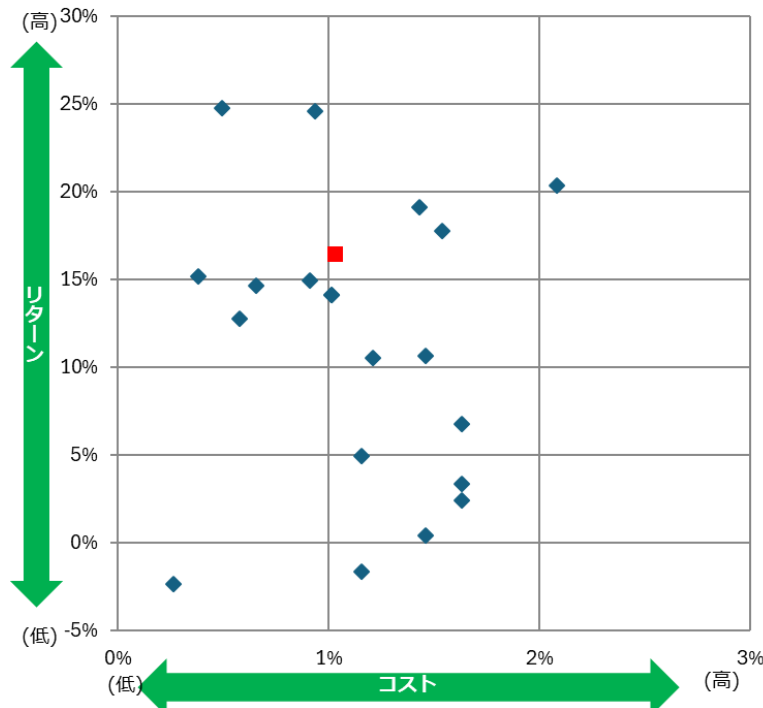


Ⅱ.比較可能な共通 K P I

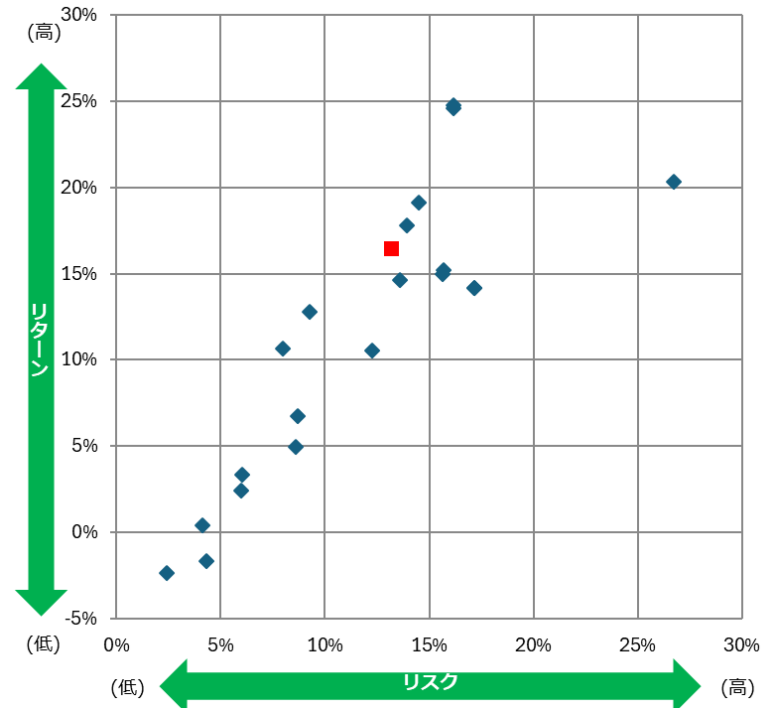
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (1/3) (2025年3月末)

- ・ J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績を組合員・利用者本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- ・ 2025年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.03%、平均リスク13.18%に対して、平均リターンは16.45%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



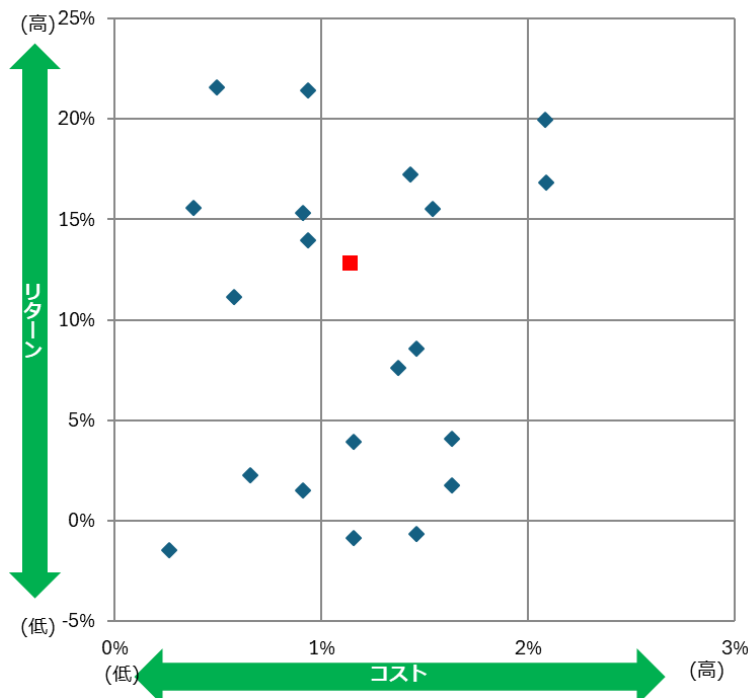
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

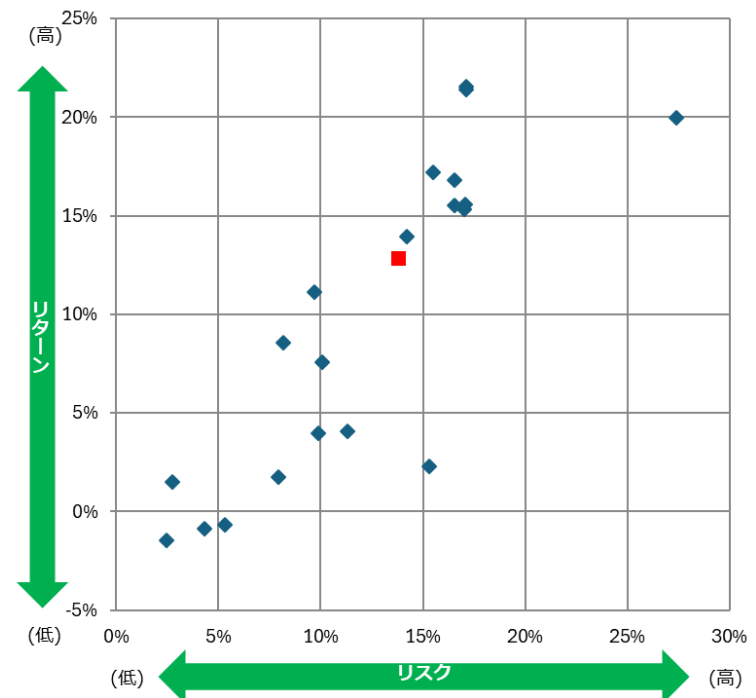
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2/3）（2024年3月末）

- 2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.14%、平均リスク13.79%に対して、平均リターンは12.82%となりました。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



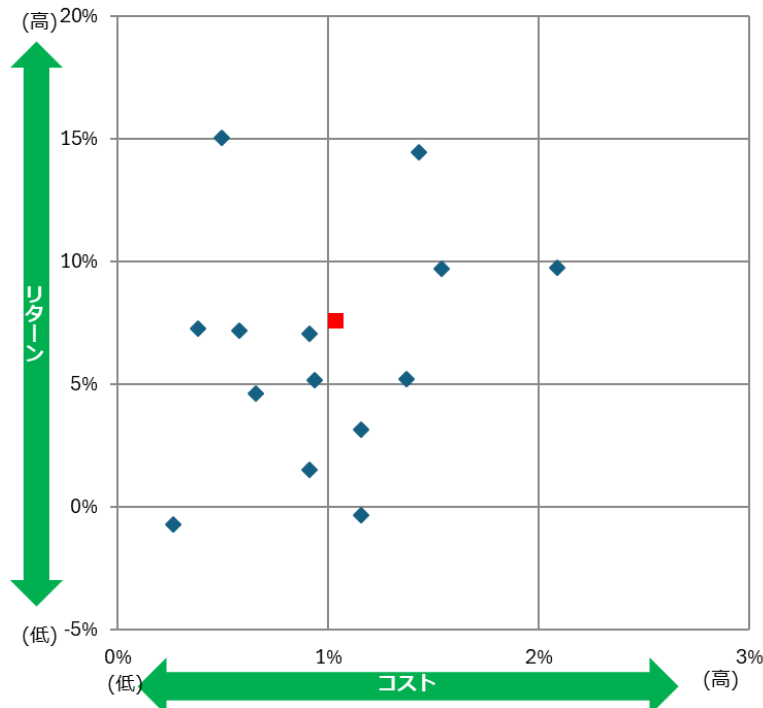
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

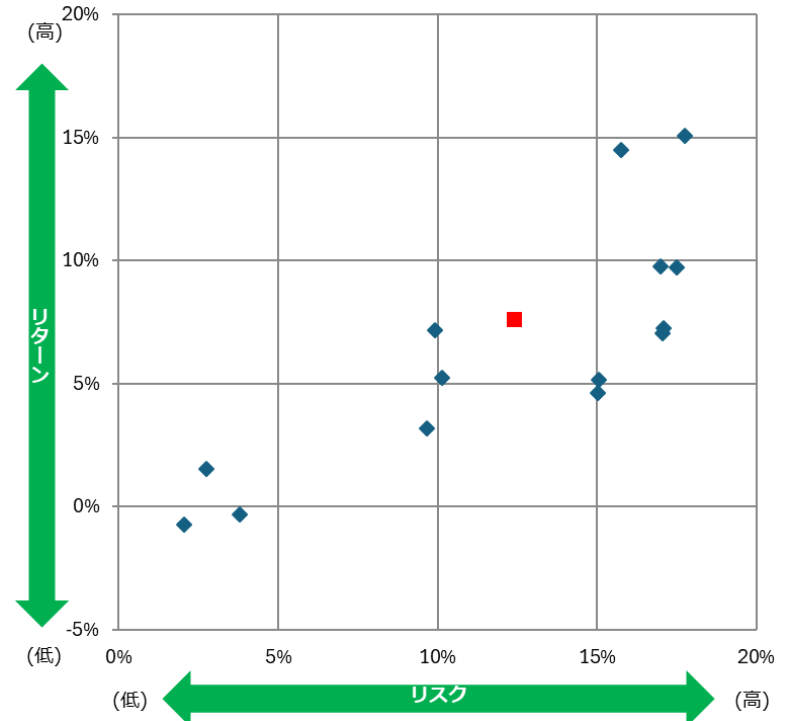
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2023年3月末)

- 2023年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.04%、平均リスク12.40%に対して、平均リターンは7.61%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/3）（2025年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	24.62%	16.15%	0.94%
2	つみたて米国株式 S & P 5 0 0	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	24.77%	16.16%	0.50%
3	HSBC世界資産選抜 収穫コース(予想分配金提示型)	HSBCアセットマネジメント(株)	3.35%	6.05%	1.63%
4	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	4.93%	8.59%	1.16%
5	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	19.14%	14.48%	1.43%
6	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信（株）	17.77%	13.93%	1.54%
7	おおぶねグローバル（長期厳選）	農林中金バリューインベストメンツ（株）	14.63%	13.58%	0.66%
8	日米6資産分散ファンド(安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	-1.66%	4.34%	1.16%
9	つみたて日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	15.19%	15.67%	0.39%
10	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	14.96%	15.62%	0.91%
11	HSBC世界資産選抜 育てるコース(資産形成型)	HSBCアセットマネジメント(株)	6.76%	8.71%	1.63%
12	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信（株）	12.76%	9.29%	0.58%
13	バイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント（株）	20.35%	26.74%	2.08%
14	グローバル・リート・インデックスファンド（毎月決算型）世界のやどかり	大和アセットマネジメント（株）	14.14%	17.14%	1.02%
15	おおぶね J A P A N（日本選抜）	農林中金バリューインベストメンツ（株）	10.52%	12.27%	1.21%
16	HSBC世界資産選抜 充実生活コース（定率払出型）人生100年時代	HSBCアセットマネジメント(株)	2.42%	5.98%	1.63%
17	グローバル・リート・インデックスファンド（資産形成型）世界のやどかり	大和アセットマネジメント（株）	14.15%	17.14%	1.02%
18	J A 日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	-2.36%	2.41%	0.26%
19	グローバル・インカムフルコース（為替ヘッジなし）	三菱UFJアセットマネジメント（株）	10.63%	7.96%	1.46%
20	グローバル・インカムフルコース（為替リスク軽減型）	三菱UFJアセットマネジメント（株）	0.42%	4.12%	1.46%
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		16.45%	13.18%	1.03%

※ 2025年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は20本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2/3）（2024年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	21.40%	17.11%	0.94%
2	HSBC世界資産選抜 収穫コース(予想分配金提示型)	HSBCアセットマネジメント(株)	1.75%	7.95%	1.63%
3	つみたて米国株式 S & P 5 0 0	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	21.55%	17.11%	0.50%
4	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	3.95%	9.89%	1.16%
5	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	17.22%	15.52%	1.43%
6	日米6資産分散ファンド(安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.86%	4.33%	1.16%
7	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	15.53%	16.54%	1.54%
8	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.34%	17.00%	0.91%
9	ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント(株)	19.98%	27.37%	2.08%
10	HSBC世界資産選抜 育てるコース(資産形成型)	HSBCアセットマネジメント(株)	4.09%	11.30%	1.63%
11	つみたて日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.57%	17.06%	0.39%
12	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	11.15%	9.72%	0.58%
13	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne(株)	1.52%	2.73%	0.91%
14	グローバル・インカムフルコース(為替ヘッジなし)	三菱UFJアセットマネジメント(株)	8.56%	8.16%	1.46%
15	J A 日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-1.47%	2.46%	0.26%
16	グローバル・インカムフルコース(為替リスク軽減型)	三菱UFJアセットマネジメント(株)	-0.67%	5.31%	1.46%
17	世界の財産3分法ファンド(毎月分配型)	日興アセットマネジメント(株)	7.59%	10.06%	1.38%
18	J A 海外株式ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	16.82%	16.55%	2.09%
19	J A T O P I X オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	13.95%	14.20%	0.94%
20	J - R E I T インデックス(毎月分配型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	2.28%	15.30%	0.66%
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		12.82%	13.79%	1.14%

※ 2024年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は20本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2023年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	日米6資産分散ファンド [®] (資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	3.16%	9.68%	1.16%
2	日米6資産分散ファンド [®] (安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.34%	3.81%	1.16%
3	つみたてNISA米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.05%	17.74%	0.50%
4	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	14.48%	15.74%	1.43%
5	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	9.73%	17.50%	1.54%
6	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.05%	17.04%	0.91%
7	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.26%	17.10%	0.39%
8	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	7.18%	9.92%	0.58%
9	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne(株)	1.52%	2.76%	0.91%
10	JA日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.72%	2.06%	0.26%
11	世界の財産3分法ファンド(毎月分配型)	日興アセットマネジメント(株)	5.23%	10.14%	1.38%
12	J-REITインデックス(毎月分配型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	4.62%	15.04%	0.66%
13	JA海外株式ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	9.76%	16.99%	2.09%
14	JA TOPIXオープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	5.17%	15.06%	0.94%
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		7.61%	12.40%	1.04%

※ 2023年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は14本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。